

2023年12月20日

日本企業の台湾展開を支援する日台産業協力架け橋プロジェクト

公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所 研修生 有岡 美奈

1. 日台産業協力架け橋プロジェクト

日本台湾交流協会（以下「交流協会」という。）では、台湾側パートナー団体である台日産業連携推進オフィス（以下「TJPO」という。）と連携し、日台間の貿易経済の円滑な発展と我が国企業の海外展開を支援することを目的に、2013年から「日台産業協力架け橋プロジェクト」として日本の中小企業や産業団体等による台湾とのビジネス交流支援事業を実施している。

架け橋プロジェクトの事業内容については以下のとおりである。交流協会 HP で随時情報を掲載しているので、海外展開を考える中小企業のみなさまにぜひ積極的に活用していただきたい。

(1) 日台パートナーシップ強化セミナー

交流協会では有識者が台湾経済、主要産業のトレンドや動向について解説するセミナーを年間10回程度開催している。半導体産業や越境EC、食品産業、台湾展開にあたってのポイントや注意点など、毎回異なるテーマで実施している。一部オンラインでも開催している。

(2) 助成事業

日台の共催により開催する商談会、セミナー及びこれらに付随して行う展示会出展・開催に関する経費の一部を助成している。商工会議所等の中小企業支援団体や地方自治体、中小企業のグループ等を対象とした事業で公募制により実施している。事業計画の実効性を確保するため、共催・事業協力の意思をもつ台湾側パートナー団体の存在が求められる。独自に台湾で事業展開を図ることが可能な団体向けといえるが、パートナー団体とのマッチングについても支援が可能である。

(3) 台湾における国際展示会等出展事業

交流協会では、台湾で開催される国際展示会で、かつ日本企業との連携が見込める分野が多く商機が見込める大規模な展示会に年1回ブースを出展している。台湾企業との取引、技術提携、生産委託等によるビジネスの拡大を検討している中小企業を対象としており、公募制により参加企業を決定する。

参加企業への主な支援内容は、展示スペースの提供、展示パネルの作成（翻訳含む）、通訳雇用費、渡航費の一部補助等である。展示会終了後の個別の企業とのやりとりは自力で行っていただく必要があるが、展示物や資料の繁体字訳、またブースには通訳を配置するため、中国語人材のいない企業でも出展がしやすくなっている。また、展示会出展と併せて台日商務交流協進会との共催による商談会も例年実施をしており、協進会会員企業との商談機会が確保されている。

2. 国際展示会への出展～台北国際電子技術展～

前述の台湾における展示会等出展事業について、今年は10月末に台北で開催された台北国際電子技術展（TAITRONICS）にブースを出展した。TAITRONICSは電子部品、グリーン電力、次世代通信技術、オートメーション機器等の展示エリアを有する台湾最大級の電子見本市である。今回、600社が1900以上のブースを出展し、3日間で約4000人が来場した。交流協会ブースには、公募の結果、日本企業8社が参加し、ブースには3日間で延べ約290社が訪れた。

期間中に開催した商談会を含め、うち50件近くが商談継続となっており、「多数のお客様にご興味をお持ちいただけた」「有意義なデータを取得できた」等、企業には手応えを感じていただけたようである。



交流協会ブースの様子（職員撮影）

3. まとめ

日本と台湾は断交後も50年以上にわたって経済や文化等の面を中心に結びつきを強化してきた。架け橋プロジェクトの台湾側パートナー団体であるTJPOは、日台産業連携を推進するために台湾經濟部に設置された組織である。連携ニーズを持つ企業に対して、関連法制度や投資環境、連携先となりうる企業に関する情報提供やマッチング後のフォローアップ等の支援を行っている。また、交流協会ではスタートアップ企業の台湾展開支援として、ジェトロや台湾のアクセラレータ¹と連携したプログラムも実施している²。台湾進出、台湾企業との連携においては、このように日台を専門に支援を行う機関や支援メニューが整備されているので、海外展開を考える中小企業はぜひ積極的に活用していただきたい。

¹ スタートアップ企業の急激な成長を支援する団体・組織。

² 台湾情報誌「交流」vol.976（2022年7月号）https://www.koryu.or.jp/Portals/0/images/publications/magazine/2022/7%E6%9C%88/2207_02bokei.pdf